



# 【令和5年度衛生科幹部等集合訓練】 (第67回北部防衛衛生学会)

令和6年1月24日

令和6年1月24日(水)自衛隊札幌病院(病院長:鈴木陸将)は、北海道青少年会館コンパスにおいて、令和5年度衛生科幹部等集合訓練(前段、第67回北部防衛衛生学会)を担当・実施した。

担任官(鈴木陸将)は、訓練のテーマを「『更なる救命率の向上』への取り組み」とし、訓練開始に当たり、『戦後最も厳しい安全保障環境の中、抜本的な防衛力の強化が示され、治療・後送の充実・強化が求められている。今学会を通じて現場における「衛生機能の変革」に資するような議論をして、我々が深く理解する良い機会としてもらいたい。』と挨拶した。

特別講演において、野外博物館北海道開拓の村館長 中島宏一氏に、『私たち道民は、先人たちが残した遺産で生きている』と題してご講演いただき、明治期以降から先人たちが鋤を入れ開拓した、この魅力ある北海道の大地が守るべき価値あるものであると再認識した。

一般演題Ⅰにおいては、坂下3佐(第11後方支援隊衛生隊長)を座長として、第7師団1名、第2師団1名、第5旅団1名、方面衛生隊1名と、一般演題Ⅱでは藤田3佐(第7後方支援連隊衛生隊長)を座長として、第11旅団1名、北部方面衛生隊1名、真駒内駐屯地業務隊1名、の合計7名が日頃の衛生支援能力向上に対する取り組みについて発表した。

教育講演において鈴木陸将(自衛隊札幌病院長)は「陸上自衛隊衛生の歩みと将来」について講演し、『陸上自衛隊衛生が経験してきた多様な任務について、その時々々の教訓及び施策への反映を振り返り、我々が確実にできねばならないことを再確認し、将来について各々が考えてもらいたい。』と話した。

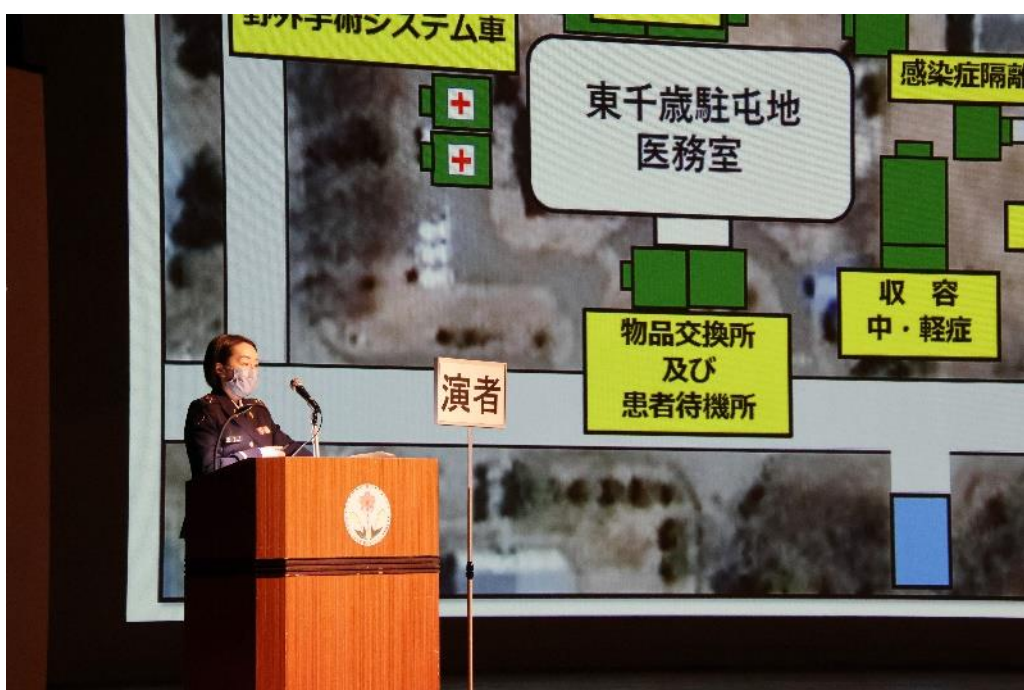
パネルディスカッションでは『衛生機能の変革』をテーマとし、座長:蝶野将補(自衛隊札幌病院 副院長)、演者:河野1佐(西部方面総監部 医務官)、蝶野将補(自衛隊札幌病院 副院長)、永田1佐(自衛隊札幌病院 救急科部長)、九頭龍坂1佐(自衛隊中央病院 看護部第1看護課長)、日下3佐(自衛隊札幌病院企画室 計画幹部)、上明戸2佐(北部方面総監部医務官付 医務保健班長)のパネリスト6名によるRole1, Role2と迅速かつ適切な患者後送に関する成果及び課題等についての発表を行い、「衛生機能の変革」の現場での取り組みについて活発な議論が行われた。



開会挨拶(担任官 鈴木陸将)



特別講演 札幌医科大学名誉教授 佐藤昇志 先生



一般公演



教育講演(札幌病院 病院長 鈴木陸将)



パネルディスカッション質疑応答



パネルディスカッション(副院長 蝶野将補)